

第4回 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用の あり方に関する専門委員会

—議事次第—

【日 時】

令和元年11月13日(水) 16:00~18:00

【場 所】

厚生労働省 共用第6会議室 (3F)

【議 題】

1. 開会
2. 議事

(1) ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用に関するヒアリングについて

- ・ 「ハンチントン病から考える遺伝性疾患を対象とするゲノム編集」

中井 伴子 参考人

(日本ハンチントン病ネットワーク 代表補佐兼関西支部長)

- ・ 「この技術に対する患者家族の思い」

柏木 明子 参考人

(有機酸・脂肪酸代謝異常症の患者家族会 ひだまりたんぼぼ 代表)

(2) ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用の制度的枠組について

(3) その他

3. 閉会

【配布資料】

資料1 中井 伴子参考人 提出資料

資料2 柏木 明子参考人 提出資料

資料3 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用のあり方に関する専門委員会の検討状況

資料4 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用に関する規制・検討状況の比較表(案)

資料5 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用のあり方に関する論点(案)

参考資料1 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用の現状について

参考資料2 ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用の枠組に関する論点整理(案)

参考資料3 委員名簿